

活動名：第22回ウインターカップフットサル in 川俣U12

日程：令和5年1月7日（土）・8日（日）

会場：川俣町体育館メインアリーナ

参加：T6・L100（6年）8名

帯同：熊坂コーチ、サポート：貝和コーチ

結果：VS ヴェルジナーレ Jr 1：1

VS 飯野 0：3

VSMOSアミーゴ 1：1

※予選グループ3位

3位・4位トーナメント

VS 川俣・醸芳2nd 7：0

VS 愛誠 0：1

VS 吉井田 4：0

最終結果 11位 / 16チーム

報告（熊坂）

テーマ

球際でしっかり戦うこと。

積極的にゴールを狙いにいくこと。

運動量で相手に負けないように走り切ること。

一人一人相手をしっかりマークし、責任を持って対応すること。

良かったところ

試合開始時にチームで声を掛け合いお互いのマークを確認してくれていました。

マークを明確にすることで責任を持って対応することが出来ました。

3失点した試合がありますが、これは前半に失点してしまい後半を攻撃的布陣に変更した結果でした。

守備は2日間通して安定していました。

運動量も豊富で走り負けることなく全員が走り切ってくれました。

6年生をととても遅く思いました。

相手の守備が密集している時に繋ごうと声を掛けるとパスを繋いで相手を崩すことが出来ました。得点は・・・。

指示を理解し対応出来た姿を見て適応力が高くなってきたと感じました。

残り3ヶ月を切った6年生。

貴重な大会の時間を共有することに大きな意味があります。

試合は真剣勝負で戦い、試合以外では常にまとまりながら笑顔で過ごしていました。

目標の結果にはなりませんでしたが大切な思い出を作れたのではないかと思います。

課題

積極的なシュートがなく、ゴールに向かう姿勢も足りませんでした。
ボールを持った時の第一選択肢がパスという選手が多かったように思います。
ボールを持った時には常にゴールを意識して欲しいと思います。

ゴール前でフリーでパスをもらってもトラップしてしまい相手に詰められてシュートが出来ない、キーパーとの1対1では正面に蹴ってしまい止められる場面もありました。

ゴール前での冷静な判断とキーパーとの駆け引き、狙った所へ正確に蹴れる技術が必要だと感じました。

3人での攻撃を伝えていましたが後ろの選手の攻撃参加があまり見られませんでした。攻撃に厚みと幅を持たせるために守備だけではなく攻撃参加も考えて欲しいと思います。

試合では先制点がとても大事です。短い試合時間での先制点は特に重みがあります。先制点を奪い自分達のペースに引き込めると余裕も生まれてくると思いますので、受け身に回らず試合開始早々から圧力をかけて先制点を取りに欲しいと思います。

出来事

2日目の愛誠さんとの試合です。
圧倒的に支配し、チャンスも沢山作りながらも相手の粘り強い守備を破ることが出来ませんでした。PKを覚悟した試合終了間際（残り4秒）に失点。
そのまま負けてしまいました。
試合後に悔しさのあまり涙する選手達。
その姿を見た時に素晴らしい経験をしたなぁと感じました。
どんな試合も全力で戦ってくれた証だと思い嬉しくなりました。

最終戦前のミーティングで一人一人目標を発表してもらいました。
愛誠さんとの試合で反省し、同じ過ちをしないといった決意を感じました。
最終戦は今大会で1番のプレーと気迫を見せてくれ、みんな最高でした。
ご父兄の皆様にも思いが届いたのではないかと思います。
粗削りでまだまだですが、サッカーとしっかりと向き合っている選手達には無限の可能性しかありません。更なる、成長が楽しみです。



